

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年6月2日					利用児童数 年月日		回収数 13名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		3				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13							
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1		2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	2		2				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12			1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	2		1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13							
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		4			・なくて良い。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	2	3				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2		2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1		2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	6	2				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11		1	1				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1		1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10		2	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		1				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2						
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2						
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	1						
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1					・とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13							

[illegible]

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどものやかた			
○保護者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、ST、OT、支援級教諭等がそれぞれの専門知識をいかして子どもの支援を行えている。 ・職員同士で向上心を高め合う意識を持っている。	・定期的に職員会議を行うようにしてからPDCAサイクルの意識を共有できるようになった。 ・さまざまな研修を受けて知識の向上に努める。	・第三者の外部評価の実現を図る。 ・研修の機会をさらに増やす。
2	・一軒家で運営しているため生活習慣の練習がしやすい。		・安全面に留意しながら庭などを活用した五感を刺激する支援を広げていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設が古い一軒家であるためバリアフリーではなく死角も多いため安全面に不安が残る。 ・色々なものが目に入るため子どもの気が散りやすい。 ・もう少し広い空間を確保できればと思う。	・日々の清掃を徹底し危険を予測し可能な限り予防措置をとる。 ・余分なものを整理整頓する。	・事故防止および虐待防止のため防犯カメラを設置した。 ・指導訓練室のガラスに飛散防止のためテープを貼る。
2	・職員間で話し合う時間が足りていない。 ・本人支援以外の部分が後回しになっている。	・日常業務におわれて時間を確保することが難しくなる。 ・新しい制度はもちろん既存の制度についても基本的な知識を理解していないことがある。	・制度についての理解を深める。
3	・保護者との話し合いの機会を設けることが難しい。 ・他の関連機関と話し合う機会をもっと設けるべきと感じる（担当者会議では難しい）。	・こどもの周囲にある環境についてもっと直接的に拘る必要を感じる。 ・保護者との関係性構築について問題があるわけではないが今のままで良いとも思えない。	・保護者と接する機会をより大事にしていく。